

Björk

—ビヨルク(白樺)—



昨年10月から11月にかけて開催した「北欧の先住民族『サーミ』展」のオープニングで、来日された講師のエリーナ・ニイゴードさんと、一緒に来日されたリクスピエルマンのダニエル・ウィークスルンドさんとともに。展示会初日とその翌日にはセミナーと映画「サーミの血」上映会、織物のワークショップを行い、多くの方にご参加いただきました。

北欧の先住民族『サーミ』展	6
寄稿「『LEK × TEC プロジェクト』レクサンドと北海道、子どもたちが世界と出会う交流事業」	8
連載寄稿「スウェーデンの現在」⑨	12
S C F 職員紹介、イベント報告	14

一般財団法人スウェーデン交流センター（理事長 内野 貢）

〒061-3777 北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ・ビレッジ2丁目3番1

TEL 0133-26-2360 FAX 0133-26-2992

<http://www.swedishcenter.or.jp/> e-mail : info@swedishcenter.or.jp

謹 賀 新 年

旧年中は当財団の事業運営に格別のご支援を賜り、
心より御礼申しあげます。
本年も旧年に変わりませず、一層のご厚誼、ご指導を
賜りますようお願い申し上げます。

2020年1月1日

一般財団法人スウェーデン交流センター
理 事 長 内 野 貢
専務理事 杉 野 秀 雄

一般財団法人 スウェーデン交流センター 役員

【顧 問】 鈴 木 直 道 秋 元 克 広 宮 司 正 育
【評議員】 居 林 次 雄 川 崎 一 彦 堀 達 也
 樋 口 達 夫 山 田 明

【理 事 長】 内 野 貢

【専務理事】 杉 野 秀 雄

【理 事】 杉 本 拓 土 居 博 昭 越 前 雅 裕
 坂 本 和 彦 浅 香 正 博

【監 事】 長 野 実

スウェーデン大使館

大使 ペールエリック・ヘーゲベリ

公使参事官 レーナ・フォン・シドー

参事官(科学・イノベーション部)

参 事 官 スベン・アキラ・オストベリ

マイケル・ジェイコブ

駐 在 武 官 ヨハン・ラーション

広報文化担当官 アダム・ベイエ

年賀新謹

株式会社 サン・クリーク
代表取締役

株式会社 長嶺設備工業
代表取締役

株式会社 十勝パッケージ
代表取締役社長

株式会社 北新マテリアル株式会社
代表取締役社長

越智建設株式会社
代表取締役社長

小川正志

〒〇〇一-一〇〇二九
札幌市北区北二九条西二丁目
電話(〇一二)七五八一六八一〇
一一三

中畑譲司

〒〇五六-〇〇〇四
北海道日高郡新ひだか町静内綠町
一丁目一番一号
電話(〇一四〇)四二一六六三
一一六

井上光男

〒〇八〇-一二五三
札幌市東区北三七条東二七丁目
字士幌西二線一四五番地一
電話(〇一五六四)五一二〇一六
三一

小西誠二

〒〇〇七一〇八三七
札幌市中央区北二条西二丁目
苦小牧市新開町三丁目一一一四
電話(〇一二)七八六一八五八一
五一

木村悟

〒〇五三一〇〇五二
苫小牧市新開町三丁目一一一四
電話(〇一四〇)五五一六六七五
四一

辻野建設工業株式会社
代表取締役

〒〇六一-〇二三四
石狩郡当別町末広三八〇番地
電話(〇二三三〇)三一四〇八
一一三

辻野浩

株式会社 ベルディ
代表取締役

関本七重

〒〇〇一-〇九二三
札幌市北区新川二条六丁目自一一番一四四号
電話(〇一二)八〇四一七七七八
一五
（関東支店埼玉県加須市久下二丁目自六一十三

森永エンジニアリング株式会社
代表取締役

横田潔

ハローガス旭川株式会社
代表取締役

佐藤義和

〒〇八一-〇〇〇七三
東京都港区港南三八一
一
森永乳業港南ビル

ヤクシン開発株式会社
代表取締役

安川隆

小西工業株式会社
代表取締役社長

堰代稔大

〒八〇七一一二六二
福岡県北九州市八幡西区大字野面
一六八番一
電話(〇九三)六一八一六六二七

株式会社 中川
代表取締役

中川清孝

古賀住設
代表取締役

古賀恭治

〒〇七八一八二二四
旭川市四条通一九丁目右一号
電話(〇一六〇)三一三八八一

株式会社トーションパッケージ
代表取締役社長

内野貢

アートルーフ工業株式会社
代表取締役

糸田直樹

〒三四七一〇〇一七
埼玉県加須市南篠崎一丁目四番地
電話(〇四八〇)六五一一二二一

辻野建設工業株式会社
代表取締役

〒〇六一-〇二三四
札幌市忠和五条四丁目自一七
一五
電話(〇一六〇)六一九一五
一一五

太田吉四郎

株式会社 ダンネツ
代表取締役会長

堀川昭雄

株式会社 ホリカワ
代表取締役会長

〒〇七〇-〇八〇四五
北海道北斗市追分三丁目三番一〇号
電話(〇二三〇)四八一〇六七八
一三
FAX(〇一三八)四八一八五八三

森山雅明

メクス株式会社
代表取締役

〒〇九〇-〇一〇一五
茨城県守谷市中央四一〇一九
一
北見市北五条東三丁目二番地
電話(〇一五七)五五三一六二七八

椎谷敏行

株式会社 椎谷建設
代表取締役

〒二五三一〇一二三
神奈川県高座郡寒川町大曲二五
一三
電話(〇四六七)七四一六〇一三

鶴田敬

有限会社 たきお水道
代表取締役

〒八七〇-〇九四四五
大分県大分市大字津守二二三五番地の一
四番八号
電話(〇九七七)五六九一一八八七

社会保険労務士法人 札幌労務管理
代表社員

山内朝友

北洋交易株式会社
代表取締役社長

小島敏之

株式会社 ワーク・サービス
代表取締役社長

上端康仁

トーキントラフィック株式会社
代表取締役
社長執行役員

酒井美德

埼玉県加須市鴻巣二二一九
一
電話(〇四八〇)五三一八一三三
一三
FAX(〇四八〇)五三一八一三三

林下英二

中西印刷株式会社
代表取締役

中内朝友

〒〇六〇-〇〇〇六六
札幌市中央区北六条西一千丁目一番八号
電話(〇一二)六一五一五五五五

神奈川県川崎市中原区小杉町一四〇三
武藏小杉STMビル七階
電話(〇四四)七一一一四四八〇

〒二二一-一〇〇六三
埼玉県さいたま市岩槻区
鹿室七五七番地三
一

トーキントラフィック株式会社
代表取締役
社長執行役員

中内朝友

中内朝友

謹 賀 新 年

<p>澤 田 卓</p> <p>〒12451-100-655 横浜市戸塚区東保野町103番地1 電話(045)851-1573 FAX(045)851-1770</p> <p>五代工業株式会社 代表取締役</p>	<p>北嶋英明</p> <p>〒15341-100-27 大阪市都島区中野町5丁目7番8号 電話(06)692-81882</p> <p>株式会社 昭和工務店 代表取締役社長</p>	<p>工藤栄三</p> <p>〒1670-10965 兵庫県姫路市東延末2丁目5 電話(079)281-1515 FAX(079)281-16610</p> <p>株式会社 飯田工務店 代表取締役</p>	<p>岡田尚一郎</p> <p>〒1670-10965 兵庫県姫路市東延末2丁目5 電話(079)281-1515 FAX(079)281-16610</p> <p>株式会社 美樹工業株式会社 代表取締役</p>	<p>福沢 優</p> <p>〒1060-100-03 札幌市中央区北2条西4丁目1-1 日本生命ビル十六階 電話(012)341-1518 FAX(012)341-1509</p> <p>北海運輸株式会社 代表取締役社長</p>
<p>蜂谷孝司</p> <p>〒1080-100-25 帯広市西十五条南5丁目4番地12 電話(0255)351-6443</p> <p>有限会社 蜂谷建設 代表取締役</p>	<p>馬場英幸</p> <p>〒1351-100-35 埼玉県新座市栗原3丁目7番29号 電話(042)432-1054</p> <p>馬場電気工業株式会社 代表取締役</p>	<p>武藤悟</p> <p>〒106-1377 北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ 電話(0133)261-2331 FAX(0133)261-1974</p> <p>日本東海インダストリアル 代表取締役社長</p>	<p>齋藤英男</p> <p>〒106-1377 北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ 電話(0133)261-2331 FAX(0133)261-1974</p> <p>スウェーデンヒルズゴルフ俱楽部 理事長</p>	<p>高瀬義秋</p> <p>〒100-310-837 札幌市白石区北郷七条八丁目2-13 TEL(012)874-1243 FAX(012)874-1523</p> <p>高瀬塗装工業株式会社 取締役会長</p>
<p>島義慈</p> <p>〒106-110-233 当別町ロータリークラブ 会長</p>	<p>石川克巳</p> <p>〒1371-1515 広島市佐伯区五日市町 電話(082)9171-1407 FAX(082)9171-1407</p> <p>株式会社 石川建設 代表取締役</p>	<p>池澤正彰</p> <p>〒106-133-42 石狩市新港中央2丁目7番5 電話(0133)264-1550 FAX(0133)264-1550</p> <p>東都成型株式会社 代表取締役社長</p>	<p>島崎一郎</p> <p>〒106-133-42 石狩市新港中央2丁目7番5 電話(0133)264-1550 FAX(0133)264-1550</p> <p>トーラン流通サービス株式会社 代表取締役 社長執行役員</p>	<p>神林章二</p> <p>〒1060-100-09 札幌市中央区北9条48丁目2 電話(012)632-1131</p> <p>富士ホームエナジー株式会社 代表取締役社長</p>
<p>小林正人</p> <p>〒106-112-644 北広島市輪厚77番地1 電話(012)377-16366 FAX(012)377-16389</p> <p>株式会社 小林住工 代表取締役</p>	<p>廣瀬正二</p> <p>〒10485-100-1 愛知県小牧市大字岩崎六八〇番地 電話(0568)721-3738</p> <p>株式会社 热田紙器株式会社 代表取締役社長</p>	<p>中嶋富士子</p> <p>〒106-521-0812 兵庫県神戸市兵庫区濱町2丁目 四番十五号 電話(078)575-1268</p> <p>株式会社 古田水道工務店 代表取締役</p>	<p>浅井時宣</p> <p>〒10235-100-1 神奈川県横浜市青葉区あざみ野 二-12-8 電話(045)901-1503 FAX(045)901-1503</p> <p>有限会社 浅井電気工業社 代表取締役</p>	<p>南出明人</p> <p>〒1060-718-35 京都府山科区勧修寺西北出町25番地 電話(075)592-1850 FAX(075)592-1850</p> <p>株式会社 新晃建設 代表取締役</p>
<p>菅原治道</p> <p>〒100-210-90 岩手県一関市萩生字袋田二三番地1 電話(0191)241-4459</p> <p>株式会社 スガノ建設 代表取締役</p>	<p>沢田滋</p> <p>〒19210-103-6 石川県金沢市粟崎町5丁目1-7番地 電話(076)201-1893</p> <p>共栄セラミック株式会社 代表取締役</p>	<p>岩本悟</p> <p>〒106-60-04 札幌市中央区大通東6丁目 十二番地7 電話(012)242-1600 FAX(012)242-1600</p> <p>株式会社 北海道ニッタンサービスセンター 代表取締役</p>	<p>根建修</p> <p>〒106-621-0051 札幌市豊平区月寒東一条八丁目 一一番三六号 電話(012)855-1740 FAX(012)855-1740</p> <p>カメイオート北海道株式会社 代表取締役</p>	<p>熊谷一也</p> <p>〒106-621-0051 札幌市豊平区月寒東一条八丁目 一一番三六号 電話(012)855-1740 FAX(012)855-1740</p> <p>カメイオート北海道株式会社 代表取締役</p>



1F展示室の様子。色ごとにテーマを分け、美しい写真と文章で解説しました

北欧の先住民族 サーミ展

2019/10/5(土)~11/24(日)

会場 スウェーデン交流センター センターホール1・2F

- ・「サーミの血」映画上映会 10月5日(土)(会場 ふれあい倉庫)
- ・「サーミのバンド作り」ワークショップ 10月6日(日)
- ・ダニエル・ウィークスルンド バイオリンミニコンサート 10月6日(日)

北極圏に暮らす先住民族「サーミ」の人々の暮らしを紹介する展示会を開催しました。スウェーデン・ヨックモック市の「アイッテ(スウェーデンの山とサーミの博物館)」の協力により、同館の巡回展示会を日本で初めて開催する機会となりました。



2F展示室ではサーミの工芸がテーマ。眼鏡を取り出して詳しくご覧になる方も



1



2

1. S C F 所蔵のサーミのナイフ。「素晴らしいものなので大事にして」とエリーナさんのコメント 2. 美しい民族衣装の人形やサブミに住む動物たちのパズルなど、子どもたちにも楽しい工夫が 3. 指で紐を編む体験コーナーも。特にノルウェーのサーミに多く見られる伝統だそうです。

3



4



5



6



7



8



9

4. エリーナによる詳しい解説が興味深く、メモを取る方も
5. 「民族衣装のさまざまな違いで、地域や家族がわかる」とのこと
6. トナカイの角細工のライチョウ。サミの匠の技による品
7. 映画上映会での解説では、自身や家族の体験も交えてお話し下さいました
8. ワークショップでは伝統的なバターンの織紐に挑戦
9. 同時期に来日したダニエル・ヴィーグスルンドさん(スウェーデン北部の伝統音楽演奏家)によるミニコンサート。ひょうきんなキャラクターで会場を盛り上げてくれました



サミは、スカンジナビア半島北部およびコラ半島に居住する先住民族です。ノルウェー・スウェーデン・フィンランド・ロシアの4か国にまたがる地域(Sápmi サプミ)に、約8万人が暮らしています。トナカイの飼育を重要な核とし、北方に暮らす人々ならではの独自の文化と伝統を今日に伝えています。白樅やトナカイの角、錫などを用いた工芸品は、実用に優れながら、その高い技術と繊細な美しさから、芸術的工芸品として知られています。

今回の展示会では、サミの暮らす地域や言語、伝統的な衣装、現代のサミの暮らしや今に伝わる知恵、工芸の技など、さまざま事柄をご紹介しました。

初日にはサミ博物館から広報担当のエリーナ・ニイゴードさんをお迎えし、わかりやすい展示内容にさらに詳しい解説を添えていただきました。特別なナイフの使い方の実演もあり、参加者からの質問にも丁寧にお答えいただきました。

また、1930年代のスウェーデンを舞台に、サミの少女をとりまく世界を描いた映画「サミの血」上映会では、サミの人々が受ける激しい差別の描写に、参加者からは「美しい映像と悲しい事実のギャップに心が揺さぶられた」「主人公のまなざしに、深く考えさせられた」と声が寄せられました。

民族衣装に使われるバンド織りのワークショップでは、サミの多彩な工芸のほんの一部分ながら、特徴的な手仕事を一端をご紹介しました。「伝統的にはサミの色である赤・青・黄・緑を使うけれど、最近は自由な色づかいで織る人もいる。ぜひ自分の色合いで楽しんで」とエリーナさん。参加者同士でお話しも弾み、「ゆったりした気持ちになれる。ほかの色でも作ってみたい」と話していました。(M)



柔らかくなめしたトナカイ革のリュックサック、サミの伝統的なデザイン



北欧の先住民族 サミ展

主催／一般財団法人スウェーデン交流センター 協力／サミ博物館(Ájtte, Svenskt fjäll- och samemuseum)

後援／スウェーデン大使館、当別町、当別町教育委員会、当別・レクサンド都市交流協会

★本展示会および関連のイベントは、宝くじの助成金(一般財團法人自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」)で実施しました。



あなたに夢を。
宝くじ 街に元気を。
Ájtte



北海道当別町で活動をしている「当別エコロジカルコミュニティ（TEC）」というNPO法人をご存知でしょうか？地域に根ざした環境教育に取り組むこの団体は、海外の環境教育を積極的に取り入れ、スウェーデンの教育についても積極的に紹介しています、その活動は当別のみならず日本各地に及び、高く評価されています。

今回はそんなTECの活動のひとつである、「LEK×TECプロジェクト」の昨年の報告をしていただきます。

寄稿

「LEK × TEC プロジェクト」

レクサンドと北海道、子どもたちが世界と出会う交流事業

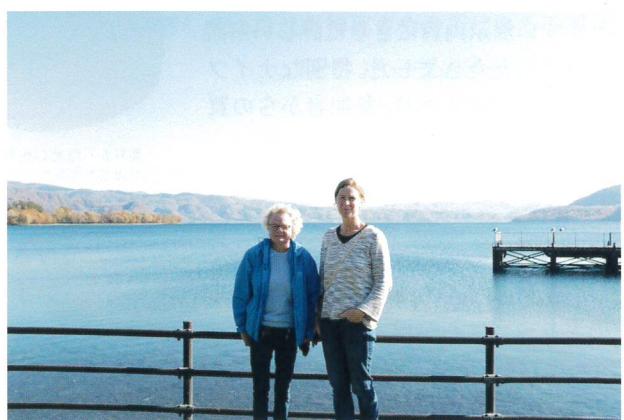
山本 風音

(NPO法人当別エコロジカルコミュニティ)



当別エコロジカルコミュニティ

スウェーデン中部、ダーラナ地方の小さな町レクサンドから、ふたりの先生が北海道にやってきました。わたしたち当別エコロジカルコミュニティがコーディネーターとして、当別町や札幌市など各地の小学校・幼稚園を訪ねてまわり、教育や野外活動、子どもたちどうしの交流をテーマに日本の先生方とディスカッションを行いました。日本とスウェーデンに暮らす子どもたちが、学校間のつながりを通して互いを知り、世界に出会い、共に学び合う交流をしよう。レクサンドの教育者たちとのそんなやり取りから始まった、草の根の国際交流プロジェクトです。



今年来日されたレクサンドの幼稚園教員ギッタンさんと余暇活動の教員シヴさん。

わたしたち当別エコロジカルコミュニティ（TEC）は、当別町で野外教育や自然体験活動を行うNPOです。学校の子どもたちや親子を対象に、森と親しみ自然に触れ合うような体験を提供する傍ら、野外教育をテーマにスウェーデンの教育者たちと長年交流を続けています。

2018年には、スウェーデンの自然学校が発行する野外教育教材「野外で算数」を日本語に翻訳・出版し、野外教育のリーダーや、森のようちえんに子どもを通わせる親御さん、小学校や幼稚園の先生方に向けて、「遊びながら野外で学ぶ」活動を全国各地で紹介しています。

LEK × TEC プロジェクト

そのようなスウェーデンとのつながりの中で、レクサンドとの交流プロジェクトも同時に進めています。そのきっかけは、2015年にレクサンドを訪問し、わたしたちの活動を市長や教育長に紹介した際に、教育や環境をテーマに子どもたちどうしの交流事業を始めようと、この「LEK × TEC プロジェクト」がスタートしました。以来、数回にわたってレクサンドに足を運び、幼稚園や小学校を訪問しながら、現地の先生方との話し合いを続けてきました。2016年には、レクサンドの教育長や幼稚園の園長先生、行政の自然保護監察官など5名が北海道を訪問し、日本の教育現場を視察するなど、互いにレクサンドと北海道を行き来しながら少しづつ交流を進めています。

今回は、その交流プロジェクトのひとつとして、レクサンドの私立学校よりふたりの先生がわたしたちの町を訪れました。

ギッタンさん、シヴさんの来道

幼稚園教員のギッタン・ロクゴードさん、小学校と余暇活動の教員であるシヴ・イエンクヴィストさんは、共にレクサンドの私立学校「エクセルスクール」で働く先生です。エクセルスクールは幼稚園と義務教育学校（日本的小中学校にあたる）が併設されていて、その教育コンセプトのひとつに「インターナショナリティ：子どもの国際性を育む」ことを掲げていることもあり、日本の文化や北海道の自然環境などを学ぶ目的でギッタンさんシヴさんの2人が来道しました。また、日本的小学校や幼稚園と直接フレンドシップを結び、互いの国際理解や英語教育などに活かしていくといった、今後の交流に向けた可能性を話し合うための訪問でもありました。

10日間の滞在の中で、西当別小学校、札幌の生振小学校、盤渓小学校、せいめいのもり認定こども園、ばんけい幼稚園、小樽の青い鳥幼稚園と、多くの小学校や幼稚園を訪問しました。実際の授業風景や子どもたちの活動の様子を見学し、先生方と今後の交流について話し合いました。ギッタンさんとシヴさんのふたりが、学校の授業内

容や子どもへの接し方などについて、先生方にしきりに質問を投げかけていたことが印象的でもありました。

ふたりが日本にやってくるのは今回が初めてではありません。昨年 2018 年も同じように視察として北海道と京都を訪れ、それぞれの地域にある小学校と幼稚園を訪問しました。中でも西当別小学校では 6 年生のクラスに前回も訪れていて、それ以来エクセルスクールの子どもたちと手紙やビデオレターのやり取りを続けています。西当別小学校の子どもたちは、ギッタンさんとシヴさんとの 1 年ぶりの再会に喜んでいました。



ギッタンさんとシヴさんが当別町内の小学校を訪問した際のようす。

ふたりにとって 2 年続けての来道となった今回は、学校の訪問だけでなく、つながりのあるいくつかの学校の先生方に声をかけ、セミナー形式で日本とスウェーデンの教育についてのディスカッションをおこないました。

エクセルスクールの様子を日本の先生方に紹介しながら、その上で日本とレクサンドの教育内容の違い、またその元にある考え方や考え方の違いなどについて、活発な議論がおこなわれました。水準が高いと言われているスウェーデンや北欧の教育については日本の先生方の関心も高く、「子どもにとっての先生の役割は?」「スウェーデンの人たちにとっての『幸福』とは何?」と教育の根本を考えさせられるような質問が飛び交います。ただ、日本とスウェーデンとの違いの中で、教育システムや学校教育の質の差こそあれ、ひとりの教育者として子どもの成長と学びを願うことに違いはないのだと、改めて互いに共有することのできたミーティングとなりました。



活動を通してつながった先生方とともに。

学校での交流以外にも

ギッタンさんとシヴさんが北海道に滞在した期間中は、学校の先生とのディスカッションに加え、地域の方々との交流も積極的におこないました。当別では、お子さんを持つ家庭でホームステイし、家庭の暮らしを体験。ホームステイを引き受けてくれたのは昨年と同じ当別町の 2 つの家庭で、前回のつながりが今でも続いている。

また、ふたりのスウェーデンからのゲストを交えて、親子で参加する自然体験イベント、アースファミリーデイキャンプを実施しました。地元の当別や札幌など合計 8 組 30 名を超える人数の親子が参加し、冬が近づく秋の森と一緒に楽しみました。森の中を散策し、スウェーデンの野外ゲーム「Kubb (カップ)」で子どもたちと一緒に遊び、ランチにはスウェーデンの硬いパン「Knäckebröd (ケネッケブロッド)」にリンゴンベリーのジャムをつけて、スウェーデンの野外での楽しみ方を日本の森で体験しました。



アースデイファミリーキャンプで、参加した親子たちとともに。

おわりに

話す言葉や文化は違っても、自然の中では皆一人の人間として、それぞれの楽しみ方で同じ時間を過ごせるのだと思います。何より北海道とスウェーデンは、針葉樹と白樺の森も、どこまでも続く自然も、ゆっくりと流れる暮らしの時間も、遠く離れた国とは思えないほど、どこか似ているような気がします。ヨーロッパとアジアでは文化が大きく異なっているとはいえ、どこか遠くの異国の地に、普段目にするのと同じような自然があり、自分たちと同じような暮らしがある。それを身近に感じることだけでも、レクサンドとのつながりが、それぞれの地域で暮らす家族や子どもたちにとって意味のあることだと信じています。

自分を取り巻く環境と世界との距離がどんどん小さく、身近になるにつれて、異文化との関わりや、そのことにおける教育の役割が大きく変化してきています。この変化を受け入れるしかないとしたら、何かと問題になっている英語教育も、グローバルな人材を育てるための国際理解やコミュニケーション能力も、まずは「自分自身が世界と出会う」ところから始まるのだと思っています。たくさんのスキルを身につけさせようと思っても、異文

化と出会う環境や、異なる場所に住む人たちと話したいと思える状況がなければ、対等なコミュニケーションは難しいでしょう。わたしたちが暮らす環境の外側には大きな世界が広がっていて、それにアクセスできる機会が格段に容易になっている中で、わたしたちが大事にしたいのは、自然体験活動の目的と同じく「暮らしの中で実物に出会うこと」。仮想の世界としてではなく、まずは世界の人々と出会い、互いのことを知り、実際に言葉を交わしてみるとことから。そうすることで初めて、自分たちは違う文化や考え方驚き、その中にも必ず自分と同じものを見つけて嬉しくなるはずです。

今回のギッタンさんとシヴさんのふたりの滞在で、そういう顔の見えるつながりがより具体的なものになってきました。当別や札幌のいくつかの学校では、実際に子どもたちの交流を始めたいという声が先生方から上がっています。まずは手紙やビデオ通話でやりとりしながら、互いの活動や暮らしを紹介し合うような、小さくもあたたかい交流が始まっています。僕自身の経験で言えば、新しい世界や考え方出会うことはワクワクするような経験であり、今まで遠い存在だったものが

もっと身近に、そして自分の世界がぐっと広がっていく嬉しさがあります。

スウェーデンと北海道、子どもたちどうしが言葉を交わし、ゆるやかにつながっていくような交流を進めていく、そのお手伝いができれば嬉しいです。

寄稿者プロフィール

やまもと かざね
山本 風音

札幌の大学で空間デザイン・コミュニティデザインについて学んだ後、フィンランドの北極圏で2ヶ月間のインターンシップを経験。



北欧の「学び」のスタイルや、自然と共にある暮らしの豊かさに感銘を受け、以来スウェーデンを始め北欧の自然学校や森のようちえんなど野外教育現場の視察、現地との交流プロジェクトに携わる。北欧の学びや自然との関わりをテーマに、野外をフィールドにした教育や場づくりを目指して活動中。

2018年、スウェーデンの野外教育教材「遊びながら野外で学ぼう 野外で算数（2才～8才）」を日本語に翻訳し、プログラムを紹介するワークショップを日本各地で開催中です。

TEC 当別工コロジカルコミュニティー

北海道当別町を拠点に、環境や教育に関わる活動をおこなっています。「Think Globally, Act Community：地域に根ざした環境教育」をミッションに、主に小学5年生で実施される宿泊学習における環境教育体験活動や、親子での週末デイキャンプや自然体験活動、地域コミュニティとの共同による身近な自然環境を活用したネイチャーセンター活動などを実施。また海外との連携では、アメリカのネイチャーセンターの取り組みや環境教育教材の紹介、スウェーデンの遊びながら野外で学ぶ「野外で授業」のアクティビティを紹介しています。「センス・オブ・ワンダー」を活動のテーマに掲げ、五感を使った体験学習を通して、自然の神秘さや身近にある不思議さに目を向ける感性を育む活動をおこなっています。

TEC ホームページ：<https://tectec-ee.wixsite.com/website>

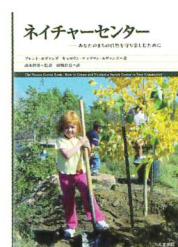
書籍紹介



「遊びながら野外で学ぼう 野外で算数（2才～8才）」

カイサ・モランデル、イエード・ストランドベリ、トシュテン・シェランデル、ロバート・レットマン=マッシュ、マツ・ウェイドマルク、ミア・ブクト著
レーナ・リンダル、山本 幹彦、山本 風音 共訳
(2018年、ラーニングアウトドア、124ページ)

教室を飛び出して野外で学ぼう。スウェーデン発、野外で遊びながら算数の基礎を身につける野外教育教材です



「ネイチャーセンター あなたのまちの自然を守り楽しむために」

プレント・エヴァンス
キャロリン・チップマン=エヴァンス 著
山本 幹彦 監訳、田畠 世良 訳
(2012年、人文書院、290ページ)

身近な地域の自然を通して、人々が集まりその土地や文化に関する、地域に根ざしたネイチャーセンターの活動を紹介。アメリカ・テキサス州の活動の様子から、全米にあるネイチャーセンターの事例を探ります。



発見力
つながりをみつける力

[業務内容]
美術、書道作品集・記念誌・町史・チラシ・ハガキ・
パンフレット・自費出版・インターネット事業・
各種イベント 他

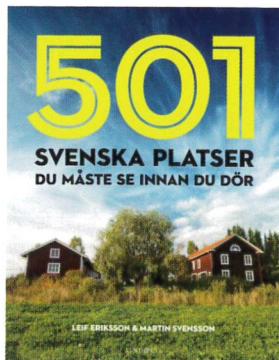
 NAKANISHI PRINTING CO.,LTD.
中西印刷株式会社

〒007-0823 札幌市東区東雁来3条1丁目1番34号
TEL (011) 781-7501 FAX (011) 781-7516
<http://www.nakanishi-printing.co.jp/>

Svensk Böcker i SCF SCF スウェーデン語の本紹介

現在 SCF の図書コーナーには、ピッピやニルスのようなスウェーデンのお話や、スウェーデンについて書かれた本を数多く揃えていますが、スウェーデン語で書かれた本も多く取り揃えています。

今回はその中からいくつかユニークなものをご紹介します。スウェーデン語を勉強してみたいという人から、スウェーデン語はわからないけど、とりあえず絵や写真を見てみたいという人にもおすすめです！

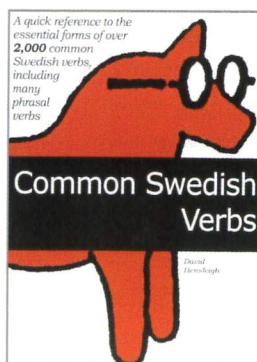


501 SVENSKA PLATSER DU MÅSTE SE INNAN DU DÖR

著者：レイフ・エリクソン
マーティン・スヴェンソン
発行：LIND&CO

死ぬ前に行っておきたい、 スウェーデンの名所 501

ツアーガイドにも出てくる観光名所から地元の人がこよなく愛する場所まで選りすぐったスウェーデンの名所 501 カ所を紹介したガイドブック。みんなが行く所とは違う場所を巡りたい…そんな人におすすめの一冊です（ちなみに最新版は 505 カ所に増えています）。

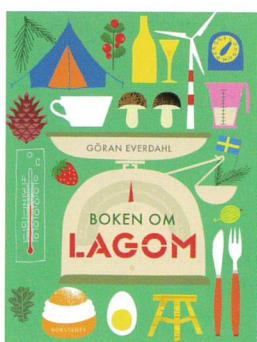


Common Swedish Verbs

著者：デービッド・ハインズレー
発行：Vapor Arts HB

良く使われる スウェーデン語動詞 2,000 語

スウェーデン語を学び、話す上で必要となるであろう良く使われる動詞を紹介するこの一冊。動詞の変化（現在形、過去形、完了分詞形など）を 4 つのグループに分類して動詞の意味と共に記載されています。スウェーデン語の語彙を増やしたい方は一読の価値あります（本自体は英語で書かれています）



Boken om LAGOM

著者：ヨーラン・エヴァーダール
発行：MORSTEDTS

「ラーゴム」について

スウェーデンの生活スタイルを語るうえで欠かせない重要なワード「ラーゴム」。実はこれはスウェーデン人でも非常に説明が難しいワードなのです。

この本はそんな「ラーゴム」とは何なのかを説明した本。ラーゴムの国となった歴史から始まり、生活面などいろいろな場面での「ラーゴム」が説明されています。



Dalahäster i Dalarnas Museum

発行：DALARNAS MUSEUM

ダーラナ博物館所蔵 ダーラヘスト

スウェーデン・ダーラナ地方の中心都市ファーレンにある「ダーラナ博物館」で売られているこの一冊。ダーラヘストの成り立ちからスウェーデンのシンボルとなつたいきさつなどが語られています。博物館所蔵のヘストなどの写真が数多く収められています。スウェーデンの歴史を感じられる一冊です。

皆さん！あけましておめでとうございます！今年もよろしくお願ひします！

今回の記事は翻訳の仕事をしているヨナタン・ヘードチャーンさんという30歳のスウェーデン人にインタビューをさせていただきました。「高校卒業後、何をしましたか」というシリーズの最後のインタビューとなりますので、楽しんでいただければ幸いです。

そしてこの記事が面白く、シリーズ全版を読みたいと思ってくださった方は、私のブログでこのシリーズの第1から第4までの完全版を読むことができます（妹の話も入っていますので4つの記事になりました）。ブログのURLが次のページの一番下にあります。よろしくお願ひ致します！

では、今回協力してくださったヨナタンさん、本当にありがとうございます！ほんじゃ、いきましょう～～～

ヨナタン・ヘードチャーン

～30歳、翻訳家の場合～

ソフィア（以下ソ）：今は何をしていますか？

ヨナタン（以下ヨ）：2017年6月からスウェーデンの会社の正社員として翻訳の仕事をしています。日本にいるのですがリモートワークという形で仕事をしています。会社ではゲームとIT関係のテキストを翻訳しており、僕は夢に描いたような仕事をしていると感じています。

ソ：日本に行こうと思ったきっかけは何ですか？

ヨ：高校を卒業したらニューヨークで政治学を勉強しようなどと考えていました。その頃、ストックホルムの就職活動フェアに行ったのですが、ある出展ブースに置かれていた桜の写真が載っているモノクロのパンフレットが何となく気になり、リュックに入れました。

帰宅してそれをじっくり見てみると、日本に行かなきゃならないという強い気持ち…衝動が湧いてきました。そして、とある留学センターのホームページで新宿にある高層ビルの写真を見て胸の高鳴りを感じ、東京に行こうと決心しました。そして2008年春に高校を卒業し、秋にはテレフォンアポイントのアルバイトをして資金を貯めました。そして翌年の1月には東京へ行くことになりました。



Photo by anonymous.

ソ：新宿にある日本語学校に通っていたそうですが、なぜ日本語を勉強しようと思ったのですか？

ヨ：よく日本人からその質問を受けますが、答えはひとつではありません。村上春樹の小説なのか、日本のゲームや漫画なのか、それとも単に日本の文化を見てみたかったからなのは自分でもよく分からぬのですが、

とにかく不思議な力に導かれて、東京で日本語を学ぶことを決めました。

スウェーデンの大学は環境面でも質の面でもとても良いと思っていたので、日本の学校を卒業して約1年後にスウェーデンに帰国することにしました。スウェーデンのストックホルム大学では英語学と文学を学びました。そして2015年に日本人のパートナーと一緒に日本へ移住し、入籍。日本語能力試験1級を取得していましたので、学位を取れば就職の役に立つだろうとは思っていました。そして、大学の通信制で哲学を学びはじめたのです。通信制で全単位を取得でき、しかも寝ころんでスマホを見ながら勉強ができるなんて、何て僕は恵まれているんだろうと感謝していました。時々オンライン上で自分が学んだことを他の生徒たちに発表しなければならないこともありましたが、それ以外はほぼ独学/自習でしたよ。

印象に残っている思い出は、パートナーと京都に行った時に、哲学の道沿いのカフェで抹茶を飲みながら、スマホで心の哲学のエッセイを書いたこと。秋晴れの気持ちの良い日の夕暮れ。11月なのに木の香りがしたのを覚えています。京都という日本らしい都市で、スウェーデンの大学の勉強をしているというのが自分でも信じられませんでした。日本にいながらスウェーデンの大学で学べるだけではなく、CSN^(※)の奨学金を受けることもできたんです！

(※CSN … Centrala studiestödsnämnden とは、毎月約10万円、最長6年間利用でき、全額の4分の1は返済義務がないスウェーデンの学生ローンのことです。)

CSNとパートナーの収入のおかげで勉強に集中することができました。とはいっても好きな時間に勉強できるので、ゲーム雑誌の翻訳をしたり、日中は散歩したりしていました。楽しかった！ただ、スウェーデンの大学で単位を取るのは決して簡単なことではないんですよ。毎日6時間は勉強した方がよいと言われています。恵まれた環境にいるスウェーデン人の僕は、学士号を取得するなら自分の興味のある分野を勉強しようと思いました。それが哲学。

哲学とは自然科学と違い、研究により解明されたものではなく、熟考して世界の真実を見つけようとする

学問です。なぜそのような抽象的なことを学びたいのかを理解できない人もいると思いますが、人が日々考へていること…たとえば私たちはなぜ生きているのか、運命はあるのかなど—そういうことを学んで学士号をもらえるのであれば、それは願ってもないことでした。

今の時代、ロボットは感情を持てるのかと疑問に思う人も多いかと思いますが、その疑問は哲学の大きな分野のひとつです。人はなぜ生きるのかというのも哲学の重要なテーマですが、子供でも大人でもそれについて話をすることはできるでしょう。それが哲学の魅力です。ベッドに横になり、毎日のようにスマートで哲学を勉強するのはとても楽しかったです。スウェーデン人として恵まれている時代に生きているのだと思い、このチャンスを最大限に活かしていきたいと思っています。また、哲学を勉強することでスウェーデンと日本の文化の違いを別の視点から見ることができますようになりました。そしてお互いの考えを理解しようと日々努力を重ねることは哲学の一部です。僕は日本のことを使ってよく理解したいと思っています。

例えば、倫理学では、善惡の区別がどうやって付けられるのかなどについて考えます。何が「善」なのかは文化によって違いますよね。その違い、つまりなぜこの国ではこれが「善」なのかを知ることで、その国

への理解を深められます。

日本では「お客様」に対してよいサービスを提供することが基本であり、当然のことのように見えます。日本ではそれを「善」と解釈する人が多いのではないかでしょうか。

スウェーデンでは逆に、顧客と友人のように接して、距離を作らないことを「善」とするように感じます。たとえば、日本では相手のことを「あなた」とは言いませんが、スウェーデン語では英語と同様に「あなた」と言いますよね。スウェーデンには敬語で「あなた」を指す言葉がありますが、それを顧客に対して使うと多くの人はイララとするでしょう。日本では逆に顧客に対して敬語を使うのは常識です。このように何が「善」なのかは国によって異なります。

ソ：これから高校を卒業する人に一言お願いします。

ヨ：絶対に好きなことにチャレンジしてください。

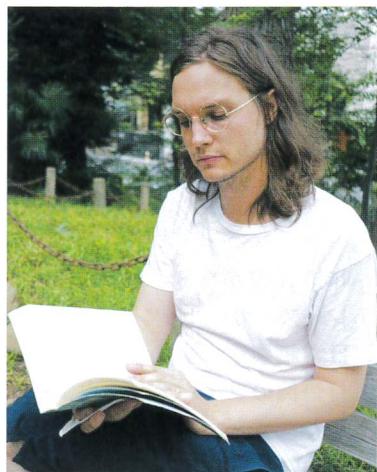


Photo by anonymous.



いや、感動しました。さまざまの方に「卒業後、何をしましたか」を聞くと、人生の意味を再び考えさせられます。このシリーズの第①で、ペアタさんが言った失敗に対する考え方、「会社の価値は今まで解決してきた失敗の結果」を聞いたことで、「失敗したことで前に進める！」と、前より考えられるようになりました。ありがとうございます！去年、たしか大学の先生に、「皆さんにたくさんの失敗をしていただきたい」と言われました。やはり、失敗は成功のもとですからね～。

そしてアンニさんの K-Pop ダンスを頑張っている姿を見て、自分もダンス頑張りたいとやる気が出ました。私も K-Pop が大好きなんですが、ダンスが得意じゃない自分がみんなに難しいダンスができるようになれるかなと自分を K-Pop のアーティストと常に比べがちです。でも、ダンスって最高に楽しい！全体が暖かくなつて幸せになりますね！アンニさん、思い出させてくださいありがとうございます。そして夢を頑張ってください。応援します！

ヨナタンの桜の画像を見たことで「日本に行かなきゃならない」との強い気持ちとその不思議な力に導かれることにも共感できました。高校卒業後、私も東京で日本語を勉強し始めました。行く前の一年間は花より団子を見て牧野つくさんの「私は逃げない。宣戦布告よ」などの名言から文法を勉強したり、GTO や 1 リットルの涙(悲しすぎて、全部は見れなかつたけど、苦笑)などとドラマで日本語を覚えようとしました。その来日する前のわくわくの気持ちを今回のインタビューを書いたことで思い出しました。

そして前段で触れた妹のオーストラリアでの「自分探し」の話はブログにあります。彼女が “Det är så vagt. Vad tror man att man ska hitta egentligen? Och vad betyder det ens, att hitta sig själv? (旅行した後、思った。自分探しとはどういう意味なんだろう？考えてみれば何を見つけると思うんだろう？)”と言っていました。確かに、自分探してどういう意味なんだろうね。自分を見つけたらどうなりますか。というか、自分を見つけることができますでしょうか。

インタビューをさせてくださった皆さん、ありがとうございました！皆さん、今回の記事を読んでくださいって本当にありがとうございます！次号はとりあえず二つの話題を考えています。ひとつはスウェーデンの婚活事情。スウェーデン人は結婚しないまま子供を生むこと、離婚が多いこと、告白は日本みたいにはっきりじゃないと日本の友達に言われました。そしてティンダーのようなマッチングアプリがスウェーデンで流行っています。スウェーデンの婚活事情は一体どういう感じなんでしょうか。それか、スウェーデン人として「ここはやめてほしい！」と日本がスウェーデン文化のイメージを間違っているトップ 5 の記事など…。どちらの記事が読みたいのですか？またはこれを書いてほしいという話題がありましたら、是非是非ページの下の SNS でお知らせください。それでは、良いお年をお過ごしください！

記事へのご意見、ご感想お寄せください！お待ちしています！

インスタグラム：

<https://instagram.com/wagasueden>

ツイッター：

<https://twitter.com/wagasueden>

ブログ：

<https://ameblo.jp/wagasueden>

SCF 新職員紹介 テレース・カールソン

Therese Karlsson

昨年10月からSCFで働いている新しいスウェーデン人スタッフ、テレース・カールソンを今回はご紹介いたします。

日本語検定一級の資格を持っており日本語の発音はとても自然。毎月恒例のフィーカやスウェーデンセミナーを企画・開催するだけでなく、メディアインタビューやラジオ出演などといったことにも積極的に参加しています。

スウェーデン語会話教室も予定しておりますので、各種イベントにぜひお越しください。どうぞよろしくお願ひいたします！



出身

スウェーデン北部の都市、ウメオ (Umeå)

日本で一番好きな所

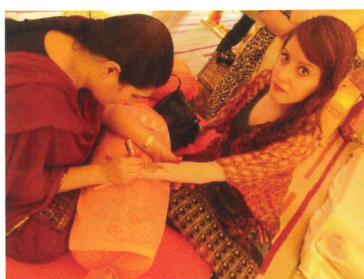
長野県の上高地です。2009年にルンド大学と岐阜大学のサマースクールに参加したときに行きました。日本の色々な所に行ったことがあります、上高地ほど綺麗な所は見たことがないですね。



2009年上高地に行ったとき。戻りたい所1位！



ルンド大学の時のハロウィンパーティーにて友達と。魔女の宅急便のキキが2人もいた！



2012年にいとこの結婚式のためにインド行った時の写真。ヘナタトゥーを入れてもらってるところ。

スウェーデン交流センターでやしたいこと

スウェーデンと日本は互いに学び合うところがあると思っています。スウェーデンの事を伝えながら、日本人の考え方や思いを学べれば嬉しいです。

日本でやしたいこと

北海道内各地を旅行すること、日本料理をたくさん食べること、そして来年札幌ドームで行われる交戦で、日本ハムファイターズと阪神タイガースの試合を見に行くことがこの一年の目標ですね！

好きなもの

- 阪神タイガース
- 旅行
- ファンタジー小説
- ドラマを見る事
- カレー
- シナモンロール



立命館大学で留学した際に初めて甲子園へ行ったときに。ちなみに、その日タイガースはスワローズに勝った！

2014年、ヴァルボリの日(ワルブルギスの夜とも言う。スウェーデンは4月30日)にルンド大学の友達との再会したときの一枚。

日本に興味をもったきっかけ

友達と一緒に「1リットルの涙」というドラマを見て、日本のドラマにはまったことがきっかけで、ルンド大学日本語学科で日本語を勉強し始めました。その時からいざれはスウェーデンと日本をつなぐ仕事をしたいと思っていたので、今回スウェーデン交流センターで働くことができたことをうれしく思います。



姉の結婚式にて。

2019年

12月8日(日)

スウェーデンヒルズも白く雪化粧した12月8日(日)、スウェーデンの冬を彩る冬の一大イベント「ルシア祭」を開催しました。12月に入りスウェーデンヒルズにも厳しい寒さと雪が降り積もるようになり、当日は朝から猛吹雪になるあいにくの空模様でしたが、午後のルシア祭開催時には多くの方にお越しいただき、例年どおりの賑わいを見せていました。

ハイライトとなるルシアの聖歌隊行進では、ルシア姫に扮したSCF職員テレースとともに、総勢12名の子どもたちがターナ姫、星の子、トムテとして聖歌隊に参加し、歌を歌ってくれました。



外は朝から吹雪くあいにくの空模様でしたが、午後には多くの方にお越しいただきました。



ジンジャークッキーイングは、子どもたちだけでなく大人の方も楽しんでいました。



今回は前日練習から参加してくれた子どもたちもあり、総勢13名の聖歌隊になりました。

* * * * *

SCF 冬のイベント情報



1 フィーカ 毎月第3土曜日午後 参加費：500円



コーヒーを片手に、SCF職員テレースと一緒にお話しませんか？

気になる政治ニュースからおやつのメニューまで、スウェーデンのことで盛り上がりましょう！



スウェーデンセミナー

スウェーデンで話題になっていることやスウェーデンの伝統文化・政治経済などをテーマにSCF職員テレースがセミナーをします。



スウェーデン語会話講座

毎回好評をいただいているスウェーデンの会話講座。簡単な自己紹介から、日常生活で使える表現まで、基本的なスウェーデン語会話が学べる全5回のコースです。

夏のオリンピックで来日するスウェーデンの人たちと交流したい方やスウェーデンにご旅行を考えいらっしゃる方、ぜひご参加ください！



※写真は昨年6月に開催した際の様子です。

2020年2月13日(木)より毎週木曜(全5回)

18:30~20:00 札幌市男女共同参画センター「エルプラザ」4階 研修室
参加費：9,000円(全5回分。教材費込)



気分は北欧生活。

スウェーデンヒルズ Since 1984
Sweden Hills

札幌郊外の丘に北欧の街並。
スウェーデンヒルズ。

大都市近郊でありながら自然に囲まれた美しい街並。
「人が人らしく、自然と調和して豊かに暮らす」を理想に、
スウェーデンの住環境を再現した住宅地として誕生以来30年。
美しい風景の中で約300家族のくらしが息づいています。

0120-242-522 [スウェーデンヒルズ]

スウェーデンヒルズ ウエスト地区 レクサンド公園

賛助会員入会のお願い

一般財団法人スウェーデン交流センターは、ガラス作品や木工作品の制作などを通じて多方面での交流を行うとともに、夏至祭、ルシア祭、各種展覧会など、年間を通して様々な催しを行い、スウェーデン文化の紹介を積極的に行なっています。

特に「世界一臭いスウェーデンの発酵にしん」スールストロミングの試食会を毎年開催し、多くの皆様からご好評を頂いております。

これらの催しは、当センターの趣旨にご賛同くださる皆様が賛助会員としてその運営基盤をさせてくださいており、毎回の催し等は、広報誌「ビヨルク」にも掲載し、賛助会員の皆様には、年4回ご自宅まで郵送、いち早く情報提供しています。ぜひ賛助会員にご入会下さいよう、お願ひいたします。

賛助個人会員 年会費 一口 5,000円

賛助法人会員 年会費 一口 20,000円

あとがき

●昨年10月に来日したサーミ博物館広報のエリーナ・ニイゴードさんとダニエル・ウイークスルンドさんのお二人。SCFでも素晴らしいワークショップが開かれました。サーミの人々とは、北海道の先住民族であるアイヌの方々との間でこれまで様々な交流がおこなわれてきましたが、その活動を見る中で、それぞれの文化を大切にし、次の世代に伝えていくための活動の重要性を再認識しました。

●これまでSCFで活躍してくれたソフィアさんに代わり、テレース・カールソンさんが新しくSCFスタッフに加わりました。毎月予定しているフィーカやスウェーデンセミナーのほか、スウェーデン語会話教室なども順次予定しておりますので、皆さんぜひご参加ください！